

11月22日に開催されたシンポジウム「次世代をはぐくむ、住まい・まちづくり」に参加された皆さんにアンケートへのご協力をお願いしました。記入いただきましたご感想やご質問の内容(講演者別と全体)と、講演者からのコメントを報告します。

(同内容のご意見・ご感想はまとめて掲載しています。)

基調講演: 狭間恵三子(サントリーホールディングス(株)大阪秘書室課長・(財)大阪観光コンベンション協会情報発信担当部長)

○子どもや家族の実態について新鮮な情報が満載だった。将来子どもを育てていくことを考えると、20歳代である私でも時間が急激に変わっており自分の子ども時代の常識はもはや通用しない気がして多少不安である。ただ冒頭の話にあったように、価値観が昔と大きく変わり選択肢が多様になった時代だからこそ、自分の家庭にあったルールややり方をパートナーと模索しながら確立していけばよいのかもしれない。その際「子どもが将来自立できるように」は絶対ゆずれない事由だと思う。(20歳代)

○講演の話を聞いて一番の課題として考えられるのは親の意識の薄さと経験不足と考える。(親としての責任感、自覚等の不足?)大人の一般道徳に対する再教育と並行した啓発活動。(50歳代)

○現代の若い人の考え方に年長者の考えを強制はできないとしても、社会のルールをきちんと教えていく手法を考える必要がある。割り切り世代にどう理解してもらうのか、その接し方に苦労している。その意味で参考になるところがあった。(60歳代)

○子供たちの意識の変化と親の考え方の関連性が非常に気になります。子供向けのイベントしていても、子供たち以上に親の考え方、行動が気になることが多い気がしましたので、アンケート内容も興味深く思います。

又、最近子供と話をしたときの内容とアンケートが非常に近いもので驚きました。(40歳代)

○当方の立場がお話の内容と一致しており、色々と考えさせられました。ありがとうございます。(40歳代)

○子供をどう育て、一人前の大人にしていくのかは本当に親の責任。それがかなわなければ社会の責任だと思います。子供が困ったとき、悩んだとき、親が色々な意味でどう支えどうはげまして前向きに進めるのか、また社会はどう支えるのか本当に重要だと思います。(50歳代)

○とても興味深い調査結果でした。単に残業時間が減っても父親の家事・育児参加は増えないと思います。もっと意識的な改革が必要な気がします。(40歳代)

○朝食事:現代の親子関係をアップ!は大切です。(50歳代)

○42才、8才・6才の親です。友達親子が増えているのに親には相談しない子が増えているということですが…。親の育ち、親を子どもも含めて地域で丸ごとみて下さいヨ。※個人的にはママ友間の話があわない(40歳代)

○今の子供って情報があすぎていて生活していくための工夫が少ないと思います。自分はいいい時代に生まれたのだなあって思いました。情報が多いってことは知識ではわかっているけどいざとなったら経験がないのでこわいことだと思う。(30歳代)

○家族、親子の会話はたしかにありません。小学生の時より各個人の時間があり、その次にみんなとの時間。もう一度考えさせられます。(40歳代)

○事例の中から例え話でどうしたら…どうなったか(少し位欲しかった)聞きたかった。1件位…。※大学受験…。(60歳代)

○現代と昔の家族の違いなどがデータを基に聞けて良かったです。(30歳代)

○子どもを取りまく環境の変化が豊富な事例研究を通じて少しはわかったような気がしました。子育て終了世代として団塊世代は子育てには失敗したという思いを持つ人が多いですが、私もその一人として印象深く聞きました。(50歳代)

狭間恵三子よりコメント

ご意見、ご感想、ありがとうございました。

子どもが置かれている状況は、まさに時代を映していると感じます。時代や社会をつくっているのは大人ですから、私たち大人が何を自覚し、子どもたちをどう導いていくのか、責任を持って取り組んでいかなければならないことだと思います。大人たちが自信を失ってしまい、伝えることをあきらめてしまっはいけない。今の子どもたちにも、きっと伝わるものはいっぱいあると信じています。

人も、生活も、変わっていく部分もあれば変わらないこともある。個人、家族、地域、それぞれの在り方は変化していますが、人が生活していくうえで、大切な繋がりは守っていききたいものです。

私自身も一人の子育て世代の親として調査データは他人事ではありません。将来子どもを育てていこうという人も、今奮闘中の人も、そして子育ての大先輩も、これからの社会を担う子どもたちを育むために力を合わせていきたい、と願っています。